

# 経済学 Economics

薬：K1-14101MY、生命：K1-14101MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 久保 亮輔(非常勤講師)

## ■ 教育目的

本講義では、経済学から派生した「経済史」という学問がどのような特徴を持つものなのかを理解するとともに、歴史的な視座から物事をみる眼を養うことを目的とします。【卒業認定・学位授与の方針:YD-⑥、SD-④】

## ■ 学習到達目標

1. 経済史学の基礎知識を身につける
2. 歴史的に物事をみる力が、現代社会を理解するうえでどのように役立つかを理解する
3. レポートの作成をつうじて、自分の主張を論理的に表現する能力を身につける

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：講義であつかうトピックについて調べておく(15～30分程度)

復習：講義の内容を復習する(1時間)

## ■ 授業形態

講義

## ■ 授業内容

| No. | 項目                  | 授業内容                                  | 備考・SBOコード |
|-----|---------------------|---------------------------------------|-----------|
| 1   | イントロダクション           | 講義の進め方、スケジュールなどについて説明します              |           |
| 2   | 前近代社会と近代社会          | 農業から商業、そして産業への移行プロセスをたどり、その意味を探ります    |           |
| 3   | 旧くて新しい感染症：ペスト       | ペストが経済社会構造に与えた影響の国際比較を試みます            |           |
| 4   | 近代への胎動              | 近世という時代のなかに、近代化の端緒となった諸要素を探ります        |           |
| 5   | 「産業革命」の評価をめぐる論争     | 従来の研究が「産業革命」にどのような意味を与えてきたのかを検討します    |           |
| 6   | イギリスと大陸ヨーロッパ諸国の工業化  | イギリスと大陸ヨーロッパ諸国の工業化の関係性について検討します       |           |
| 7   | 工業化の歴史経路比較：ドイツ、アメリカ | 後発工業国における工業化のプロセスを検討します               |           |
| 8   | 工業化の歴史経路比較：エジプト     | エジプトが殖産興業の試みを経て、国際分業体制に組み込まれる過程を検討します |           |
| 9   | 制度と経済発展             | 制度が経済発展に与えた影響を検討します                   |           |
| 10  | グローバルヒストリー①         | 世界史とグローバルヒストリーの共通点、相違点を検討します          |           |
| 11  | グローバルヒストリー②         | 近年の研究潮流を検討し、その特徴と限界を明らかにします           |           |
| 12  | セーフティネットの歴史的展開      | イスラームの事例にそくして、救貧・慈善のあり様を検討します         |           |
| 13  | 中東・イスラーム地域と市民社会     | 中東・イスラーム地域がかかえる問題を、民主化とのかわりから検討します    |           |
| 14  | 開発と国際協力             | 構造調整、環境問題などをテーマに、経済発展の可能性を展望します       |           |
| 15  | まとめ                 |                                       |           |

## ■ 授業分担者

久保 亮輔(非常勤講師)(No.1～15)

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

平常点 20%(リアクションペーパー)+中間課題(20%)+最終レポート(60%)

## ■ 教科書

教科書は指定しません。必要な資料は講義時に配布します。

## ■ その他

受講者の希望、授業進度などによって、授業内容を変更することがあります。